



地域の発展と飛躍を願う

今月の表紙

1月9日に新春賀詞交歓会を開催しました。
[詳細は2ページ]

飯田 NEWS

商工会議所

2
No.663
2020

目次

- 話題** 新春賀詞交歓会開催 他 2
- 特集** 確定申告 4
クラウド会計ソフトセミナー開催 他 ... 5
- 支部だより** 年明けから活発に 他 6
- お知らせ** 正副部会長決定 他 7
- 注目** 創立100年を振り返って 他 8



経営に役立つ情報をいち早く... <https://www.iidacci.or.jp/>

新たな未来へ地域とともに 「飯田商工会議所創立100周年

シリーズ 「100年を振り返って」

9

飯田商工会議所報の記念すべき第1号が発刊されたのは、昭和39年5月1日でした。

発刊にあたり巻頭で当時の加藤義雄会頭は、この年の2月の議員改選を機に、会員の皆さんとの連絡方法として発刊するに至った経緯を述べられています。「商工会議所は一体どのような事業をしているのか？会員の皆さんは常に疑問を抱かれていますのではないかと冒頭で触れ、「会議所は飯田地域の産業振興を計るため、道路、交通、通信等の開発に意を注いでおりますが、（中略）会議所には商工業者のよき相談相手として、直接皆さんに接する経営改善指導員がいていかなる相談にも応ずることになっております。」と、当時から地域振興と中小企業支援を中心に行っていたことが窺われます。

また、一面には松井卓治飯田市長の発刊に際してお祝いのコメントも掲載されています。その他には発刊が5月であったことから、昭和39年度の事業計画や収支予算が載っており、事業計画には中央自動車道や飯田・下呂線への対応、小規模補助事業の推進に加えて、庁舎（商工会館）の新築問題にも触れています。この他にも2月から4月にかけて開催された議員総会や常

議員会、8つの委員会の内容や陳情報告についても書かれています。

時代背景がよくわかるものとして、「新規中学卒業地元就職者激励会」が4月7日に飯田日活で開催され、65名の参加があったことが報告されています。まさに後に団塊の世代と呼ばれる、第一次ベビーブームや高度成長期を窺い知ることができる記事が載っています。また、商業関係では、全市一斉の春の売出しとして、舟木一夫ショーへの招待売出しが盛況のうちに終わり、招待日の6月14日は相当の混雑が予想されるとも書かれています。さらに「生花教室」開設の案内もあります。

最後のページには「機関構成表」が載っており、当時の職員体制が書かれています。専務理事に坂下広士氏、事務局長には今牧久衛氏など懐かしい名前が載っています。

当時はB5版で全6ページの内容でした。紙質や表現方法、旧漢字に加えて、世相や経済状況など時代を感じさせる所報となっています。



飯田市ビジネスプランコンペ表彰式

飯田市では市内で新たな事業に挑戦しようとする起業家や経営者を対象にビジネスプランコンペを行っており、その表彰式が1月14日（月）に牧野市長も出席され、市役所で開催されました。本年度は新人起業家と新事業連携チャレンジの2部門で募集され、過去

最多の13件の応募がありました。

この事業には当所経営指導員もプランのブラッシュアップ指導に携わり、より確実な起業や事業展開につながることを目指しています。10月に書類審査、11月の面接審査を経て、12月17日に公開プレゼンテーションにおいて、それぞれのプランを発表していただき、その結果発表と受賞者の表彰が行われました。

見事大賞に選ばれたのは着物などをリメイクドレスや洋服を受注生産す

る岩下昭子さんです。着物のリメイクを通じ地域の歴史や文化を後世に伝えようとする意欲的なプランとの評価をされました。その他の受賞された方も応募いただいた方も特色あるプランで、当所でも実現に向け継続して支援してまいります。



大賞受賞の岩下さん(左から二人目)

新人起業家部門

- 大賞
着物や古布のリメイクを中心としたドレス、洋服の受注生産
受賞者 岩下 昭子 さん
- 準大賞
賢い家財・遺品整理の方法教えます
受賞者 城田 克秋 さん
- 準大賞
サイクリングで旅行者と地域の絆を創る宿
受賞者 山梨 明子 さん
- 特別賞
次世代のモノづくり人材を育成するロボットプログラミング教室
受賞者 立花 輝彦 さん

新分野チャレンジ部門

該当なし
大賞・準大賞の方へ奨励金が、特別賞の方へは副賞が贈られました。